

『息切れ』を感じているあなたへ



「肺高血圧症」という病気を知っていますか？

「肺高血圧症」は呼吸器の難病です。肺の血流が何らかの原因で悪くなり、心臓が高い圧力をかけて肺に血液を送りだそうとします。すると、肺動脈の血圧が高くなります。その状態が続く病気で、心臓に負担がかかり、全身の血液の流れに障害がでます。あらゆる年代で発症しますが、30歳前後の発症も多く、女性に多くみられます。医療従事者含め、国民の認知度が低いのが現状です。

～『肺高血圧症』でもおこるって知っていますか？～

「肺高血圧症」は息切れ、疲れやすい、胸痛、動悸、声のかすれなどが主な初期症状ですが、専門医以外には診断、治療が難しい病気です。放っておくと重い症状につながるケースもあり、早期診断・治療が重要です。

そこで、専門医による病気や治療法などの分かりやすい解説に加え、患者の立場からも病気について語る市民公開講座を開催します。市民の皆様はもちろん、医療従事者の方も是非ご参加ください。

日時

2017年
6月17日(土)
13:00～16:00
(開場12:30)

会場

砂防会館別館
「シェーンバッハ・サボー」

東京都千代田区平河町2-7-4
地下鉄永田町駅4番出口より徒歩1分

入場無料

定員**200人**
(予約先着順)

プログラム

司会 須田 理香先生 千葉大学医学部附属病院 呼吸器内科

- 1 ヒトは何故息切れを感じるか？
西村 正治先生 北海道大学大学院医学研究院・医学院 呼吸器内科学講座 教授
- 2 呼吸器の病気「肺高血圧症」
巽 浩一郎先生 千葉大学大学院医学研究院 呼吸器内科学 教授
- 3 「肺高血圧症」の治療で息切れが楽になる
田村 雄一先生 国際医療福祉大学医学部 三田病院 循環器内科 准教授
- 4 患者からみた「肺高血圧症」 山本 理加さん 肺高血圧患者会
- 5 Q&Aセッション
- 6 ミニコンサート ヴァイオリニスト 松本 蘭さん

応募方法

応募締切 6月7日(水)

ハガキ、FAX、インターネットからお申し込みできます。
参加ご希望の方は以下を明記の上、下記までお送りください。

①氏名(ふりがな) ②〒住所 ③電話番号 ④年齢
⑤性別 ⑥職業 ⑦参加人数 ⑧先生方への質問

ハガキ

〒102-0074

東京都千代田区九段南1-6-17 千代田会館5階
毎日企画サービス「肺高血圧症講座」事務局

FAX

03-6265-6837

インターネット

<https://www.mainichi-ks.jp/form/medical1706/>



※参加者には聴講券をお送りします。 ※お預かりした個人情報は、同講座の聴講券発送および統計資料作成のためにのみ使用します。 ※後日、毎日新聞などで同講座の採録紙面を掲載します。

問い合わせ先 毎日企画サービス「肺高血圧症講座」事務局 TEL: 03-6265-6815 (平日10時～17時)

主催: 第2回日本肺高血圧・肺循環学会学術集会 共催: 毎日新聞社 後援: 日本医師会、日本医学会、日本呼吸器学会、日本循環器学会
協賛: アクテリオン ファーマシューティカルズ ジャパン株式会社、日本新薬株式会社

市民公開講座「『息切れ』を感じているあなたへ」のお申し込みは

氏名(ふりがな)、〒住所、電話番号、年齢、性別、職業、参加人数、先生方への質問を明記の上、ハガキ、FAX、インターネットのいずれかでお申し込みください。

ハガキ

〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-17 千代田会館5階
毎日企画サービス「肺高血圧症講座」事務局

FAX

03-6265-6837

インターネット

<https://www.mainichi-ks.jp/form/medical1706/>

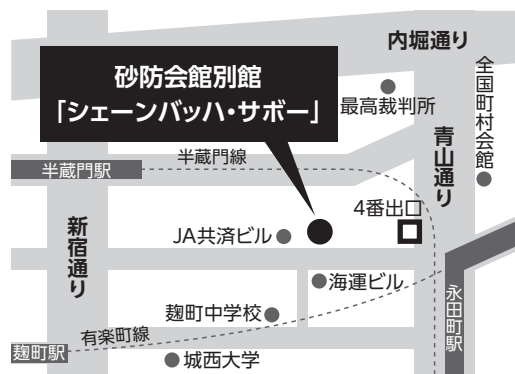


FAX参加申込書

住 所	〒 ー		
氏 名	ふりがな	性 別	
電話番号	ー ー	年 齢	歳
職 業		参加人数	人

先生方への質問

会場のご案内



東京都千代田区平河町2-7-4
地下鉄永田町駅4番出口より徒歩1分